

様式第1号（第3条関係）

【健康あだち21専門部会】会議概要

会 議 名	令和4年度 第2回 健康あだち21専門部会
事 務 局	衛生部こころとからだの健康づくり課
開催年月日	令和5年2月27日（月）
開催時間	午後1時30分 ～ 午後3時30分
開催場所	足立区役所 中央館8階 特別会議室
出席者	別紙名簿の内、14名
欠席者	1名（足立区民間保育園連合会 川下様）
会議次第	別紙のとおり
資 料	令和4年度第2回健康あだち21専門部会 報告資料

様式第2号（第3条関係）

（審議経過）

飯塚学務課長より、資料1に沿って説明

（山下）たいへん美味しい給食で、年に1回は学校で子ども達と一緒に給食を食べるようにしているが、コロナ禍で2年間できていなかった。学校ではコシヒカリの日があるが、普段からササニシキを食べていると聞いている。

（藤原）野菜から食べる割合は調査で増加しているのが分かっているので、引き続き推進してもらいたい。歯みがきは、幼稚園保育園でも推進していると思う。7～8割は朝晩磨いているが、どうしても1回しか磨かない、また全く磨かない子も10%～20%いるという状況なので、何とかそこにアプローチ出来ないかと思う。学校でやるのは大変だと思うが、そこが非常に重要な入口なので一律はむずかしいと思うが、「やらない」というのは非常にもったいない。是非進めてほしい。

飯嶋感染症対策課長より、資料2に沿って説明

（藤原）新型コロナウイルスについては、何とか終息することを祈っていききたい。

片岡ワクチン接種担当課長より、資料3に沿って説明

（山下）4月以降のワクチン接種にも協力していく。具体的にどういう対象にいつ頃やるかは、まだ示されていないので、体制を臨機応変に考え、必要な分は必ず手に入れて打てるように、また無駄に費用がかかり過ぎないようにバランスを考えている。

境生活衛生課長より、資料4に沿って説明

（藤原）自治会の方では、地域猫というのは足立区の方で管理していることは知って

いるか。

（笠原）今日初めて、このような地域猫の取り組みをしていることを知った。勉強不足だった。団地の中にもかかわっている方がいる。最近、野良猫や捨て猫がだいぶ少なくなっているのので、地域猫の取り組みはすごいなと思う。

（藤原）コロナ禍でペットを飼う人が増えたが、飼いきれず放してしまうようなことも増えているか。

（境）コロナが流行り始めたころはペットショップが繁盛したという話があった。気軽に飼い、無責任に「もう、飼いきれない」という苦情をペットショップに訴える話も聞いている。自治体の中では、そのような人たちの無責任な行動等の危機感があった。

また、「知らなかった」ということについては、PRがまだ足りていなかったと反省している。実際に苦情をいただいてから、現場に行き活動をしている。もし猫の事でお困りのことは、今日配布したチラシの方へ遠慮なく連絡してほしい。私どもが出掛けて行き、地域猫の取り組みについて話をする。

半貫課長より、資料5に沿って説明

（吉岡）ジェネリック医薬品に関しては、足立区では高い数値で使用されているが、ここに来て薬品が中々入ってこない状況が続いている。同じメーカーを使っている方には同じものを調剤したいが、ジェネリックが入ってこないため、やむを得ず先発メーカーに変えなければならないので、どこの薬局でも困っている。先発しか出せなくなると、この数値にも影響が出てくるかもしれない。国の方でも対策を練っているが、製薬メーカーの問題が関わっているの

で中々難しくなっている。薬剤師会としても、ジェネリックを優先するように患者様に話をして納得していただけるようにしている。今後もこの活動には協力させていただきたいと思っている。

(藤原) ちなみに、薬が入ってこないのはウクライナの影響なのか。

(吉岡) それもあると言われているが、本来は数年前のジェネリックメーカーの製造工程に違反があり、そこで国が徐々に違反を改めて行く予定が、一気にガッとやってしまったことが不足に影響している。

(藤原) ちなみに、82%どこまでやるか目標は決まっているのか。

(半貫) 国の目標が80%になっているので、それを維持していく方向である。

(藤原) どのようにして達成したかはわかっているのか。それをアピールすると、さらに足立区の健康推進のアピールポイントが増え、使用する患者も増えるのではないか。

(半貫) 生活保護を受給されている方を、重点的に施策として取り組んだことが要因の大きな一つかと思う。P8の3. 保険別の使用率をご覧いただいてもわかると思う。ジェネリックの薬品が入ってこない中でも、生活保護医療扶助が81.5%となっているのは、そういった取り組みがあったからだと思う。また、「ジェネリックを希望します」というシールを保険証の方に予め貼り、それを提示してもらっている。薬剤師会のご協力で貼っていないお客様へは、その場で説明をしてその場で保険証にシールを貼っていただいている。そういった取り組みをしていることも大きな要因の一つだと思う。

(藤原) 基本ジェネリックで調剤するということか。

(吉岡) 「私たちもジェネリックを使う。日本人は皆さんジェネリックを使われている。」と説明すると、すんなり「私も」と同意する方が多い。ここまで普及していると説明しやすい。

(豊川) 8ページの保険別の資料率についてだが、(1)(2)(3)が、いずれも足立区の82.4%より低い。引き上げているのは協会健保等々の利用者と考えていいのか。

(半貫) その通りである。

(豊川) イメージすると国民健康保険の人達も上がりそうな気もする。

半貫課長より、資料6に沿って説明

(藤原) 健康づくりについてどうか。

(中村) 資料6のオンライン予約についてだが、高齢者の何割ができると思っているのか。教えてくれないと出来ない。私のクラブでスマホ教室をやった経験から言うと、出来るようになったのは7割。ちゃんと教えてもらわないと年寄りにはできない。そのあたりを考えてほしい。

(半貫) 11ページのオンライン予約については18才から39才の方を対象にしており、後期高齢者の方には、今までどおり医療機関へ電話での予約をしていただけるようにしている。

(中村) 65歳以上が17万人もいるけれども、そのうち何人ができるか、ブロック会議など集まる各組織を使ったらいいのではないか。

(馬場) 地域の住区センターなどを拠点として、スマホ教室を来年度以降に開催を予定している。色々な手段を使って工夫していきたい。

(西方) 自分もスマホは出来ないが、仕組みが悪いというのでは元も子もない。私は

息子が全部やってくれるが、我々もついて行ける方法を考える必要がある。

(為田) フレイルの問題だが、高齢者になると食べたくても食べられない方が多い。なるべく食べるようにして、皆さんバランスの良い食事を心掛けている。

(佐藤) 歯科健診結果 4 - 2 高齢者歯科検診について、令和 6 年度に向けてオーラルフレイルに関しての何か予定はあるか。

(半貫) 現在のところ、歯科医における健診予定はない。資料はアンケートに基づいてのものになる。

(佐藤) できればアンケートだけではなく、本来は歯科検診としてやっていただきたい。

半貫課長より、資料 7 に沿って説明

(佐藤) 忙しい中、参加いただき感謝している。参加者も増えているようなので、引き続き多くの方に参加いただきたい。

網野課長より、資料 8 に沿って説明

(藤原) 自治体が郵送で行う調査はだいたい 4 割くらいの回収率なので、41%はすばらしいと思う。まとめについての報告を楽しみにしている。

網野課長より、資料 9 及び 10 に沿って説明

(藤原) 実際にターゲットとしている、糖尿病についてどうだったかという本格的な検証をしてもいいのではないか。その過程の中で、人々にどう伝わって、伝わった人の気持ちはどう変わり、最終的に行動が変わり、健康に繋がるということを、一つ一つのステップを評価して検証する必要があるのではないか。ここにいらっしゃる方々の協力も得て、「ベジタベ知っています」

とか、「それで野菜を食べようと思った」とか、「いや面倒くさいからやらなかった」とか、色々な意見がある。ネガティブな意見も含めてフィードバックが必要。足立区の若い男性に向けてどうしたらアプローチできるかとか、具体的に声を頂き、施策評価を立体的に行い、次に繋げると良いと思う。最終的に一つのプロジェクトにするような形で、今までの事をどう繋げて深く突っ込むために何が必要かを、整理することがあると良いのではないか。

(網野) ベジタベから糖尿病の減少につながっているのかという検証には、現在は至っていない。令和 5 年度中に次年度の行動計画を立てる予定なので、皆様のご意見をいただきながら、次の取り組みを考えている。豊川先生はじめ、ご相談させていただく。

(中村) 料理するとなると大変だから、高齢者でもできる、わかる簡単なレシピの紙のチラシがあってもいいのではないか。

(網野) 足立区でもベジタベのレシピも紙でも周知しているが、メールとかインターネットなどでも、すべての皆様に見ただけのようにこれからも工夫する。

(馬場) ぱく増しでもレシピをやっている。是非、中村会長からも「私もやっているよ。これがいいよ。」等々の声掛けをしていてもらいたい。